

「はやすい」、「やすい」、「あんしん」。 ～今後の活用が見込まれるブロックチェーン技術～

金融とテクノロジーが融合したフィンテック(FinTech)において、革新的な技術である「ブロックチェーン」が今、注目されています。ブロックチェーンとは、インターネット上でつながった参加者がモノや資産の取引記録をチェーン(鎖)のようにつないで共有しながら蓄積し、高度な暗号技術でデータの改ざんを困難にする仕組みのことです。

仮想通貨であるビットコインの土台となっている技術で、大規模なサーバーなしに低コストでシステム構築が可能なことなどから、日米欧などの金融機関が共同でブロックチェーンの基幹システムを開発するベンチャー企業などに出資し、仮想通貨に加え、送金や証券取引などの様々な金融取引への応用について、研究・開発を進めています。例えば、海外送金では、これまでスワフト(国際銀行間通信協会)を通じて送金情報をやり取りしながら複数の銀行を経由していましたが、ブロックチェーン技術を活用した新たな国際送金システムが誕生すれば、複雑な手続きを省くことで、低コストで送金することができ、即時決済も可能になることから、金融機関だけでなく、利用者にとっても利便性の高いサービスとなることが期待されます。

インターネットは当初、電子メールやホームページの閲覧を中心に利用されていましたが、今ではeコマースなど、様々なサービスで利用されるようになりました。ブロックチェーンもインターネットと同様に、ビットコインなどの仮想通貨を始めとして、今後、海外送金や証券取引など、様々な決済サービスのインフラとして活用されるとみられています。こうしたことから、ブロックチェーン技術に早期から取り組み、革新的な商品・サービスの開発を目指すフィンテック関連企業は、ブロックチェーンが主流の技術として普及していく過程で、その恩恵を享受できるものと期待されます。

ブロックチェーン活用のメリット

「はやすい」

- ◆ 決済にかかる時間を数日から即時にまで短縮

「やすい」

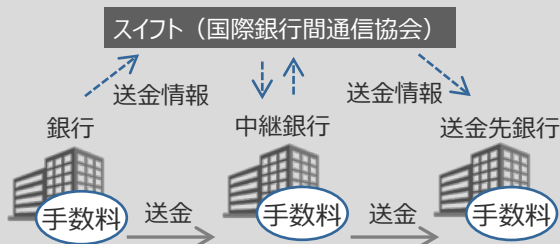
- ◆ 中間コストや間接費用などの削減

「あんしん」

- ◆ データの改ざんが困難

海外送金の際に中継役が不要に

これまでの海外送金



決済に数日必要・高い送金手数料

ブロックチェーン技術を活用したネットワーク



即時決済が可能・安い送金手数料

※上記はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。